

平成 26 年度総会報告

今年は台風やゲリラ豪雨にかなり見舞われましたが、そろそろ虫の声も聞こえるようになりました。

6 月 28 (土) に行われました平成 26 年度定期総会につき、下記の通りご報告申し上げます。

創部 60 周年記念ということもあり、例年より多くの OB・OG、現役や保護者の方も大勢参加して下さい、総勢 80 名で開催いたしました。

1. 平成 25 年度会計報告

自平成 25 年 6 月 1 日至平成 26 年 5 月 31 日 (単位: 円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	142,635	総会会場費	89,250
総会会費	84,000	通信費	19,380
年・終身会費	60,000	事務費	4,268
寄付金収入	58,112	現役補助	34,296
受取利息	17	大会出場補助	50,000
雑収入	14,000	慶弔費※	20,000
		雑費	42,141
-	-	次年度繰越金	99,429
合計	358,764	合計	358,764

※慶弔費: 40 回橋詰大慶さん結婚、57 回宮松洋仁さん逝去
上記の通り報告いたします。

平成 26 年 6 月 28 日

会計 山田 美恵子 印

会計監査 高橋 暁 印

2. OB・OG 出席者 (敬称略・名前の前の数字は卒業回)

6 山田晃三、7 篠原正夫、7 野村満利、11 平塚さゆみ、
11 宇田川純子、12 柳田正二、12 竹澤俊行、
13 山田美恵子、13 藤島てる子、14 加藤伸二、19 鈴木淳、
23 澤村誠、26 宮崎博之、27 石黒裕朗、27 今村豊、
27 田辺隆英、35 田中雅子、40 橋詰大慶、47 岸 慎也、
56 川合大地、56 大原哲、56 石川貴裕、57 津野千鶴、
59 赤迫寛、59 石阪奈未、59 八木麻友、59 石阪奈未、
60 角健二、61 金森和美、61 石川彩乃、62 中村勝之介、
62 山下大輔、62 矢野沙織、62 田村梢、62 田村萌、
63 鈴木康太、63 堀田さとる、63 松永将吾、
63 深谷 健、63 平澤日和、30 廣瀬幸乃
顧問 浅川先生、現役 15 名、保護者 23 名

3. 式次第 (敬称略)

総会

開会挨拶 30 回生 廣瀬幸乃

挨拶 会長 23 回生 澤村誠

乾杯 11 回生 宇田川純子

会計報告 13 回生 山田美恵子 (報告書)

60 周年記念式典 司会 57 回生 赤迫寛

OB・OG、現役、保護者代表者挨拶

記念品贈呈 (幟、刺繍襷)

浅川先生より現役現状報告



= 総会会場『トラットリア・ターボロ・フィオーリ』にて

4. 澤村会長より

今年、陸上競技部は創部 60 周年を迎えました。6 月 28 日には浅川先生、ご父兄の方々、そして OB・現役が一堂に会した記念式典を催すことができました。60 年前と言えば、第二次大戦から 10 年も経っていない時代です。国土復興と経済成長に国民の全関心、全エネルギーが注がれた時代でした。その時の流れの中で、東大附属陸上競技部は誕生しました。創始者の山田晃三先輩の御心には、そのとき、これから始まる陸上競技部の歴史がどのように展開されたことでしょうか。それは、アスリート達の鍛錬が結果を生み出す、何かが生まれるような躍動するビジョンであったかもしれません。しかし、創部から現在に至る迄、陸上競技部では強さばかりが求められたことはなく、むしろ「お世話する力」、「仲間を支える力」が大切にされてきました。そして、結果よりもプロセスが重視され、人に勝つことよりも自己ベストを尽くすことに価値がありました。オンリーワンの人間として、願いと絆を基とした陸上競技への

チャレンジの場が育ってゆきました。今の時代を先取りしたライフスタイルが生まれていたと言えるでしょう。その円居は、色褪せることなく、現在、浅川先生のご指導の下、より深く育まれ、一つの潮流を生み出そうとしていることを感じております。この流れを 60 年間深化・成長させてきた陸上競技部の仲間達に畏敬の念を抱きます。そして感謝します。この世代を超えた同志の中に育まれてきたエネルギーが、新しい力となり、激変する世界の中で、新しい時代を開いてゆく原動力となることを心より願っております。

5. 現役顧問・浅川先生より

いつも現役選手の頑張りを応援してくださりとありがとうございます。春先からの 65 回生を中心としたチーム体制が、インターハイを終えて本格始動しています。キャプテン廣野は中学時代にほとんど実績を残しておりませんが、その分部長の 平松と力をあわせ下の学年とも本当によく話し合っ て皆で運営をしています。これまで在籍しながらもあまり卒業生の耳に入らなかった選手がじわじわと力をつけてきて、競技面でも運営面でも頑張っている感じです。

高校は都大会に例年並みの人数が進出、とくに女子の 4 継は 21 世紀初の都大会ということで気を吐きました。残念ながら都の決勝へは誰もあがれませんでした。が、64 回生は納得して高校での競技を終えました。9/6.7 の新人戦支部予選は女子 400m 平松と男子円盤投げ篠原の 2 名が都大会へ駒を進めました。来春のインターハイ予選に向け、リレーも含めて二桁人数が都にでられるようこれから長い闘いです。

中学は渡邊がキャプテンとして大変高い意識で頑張っており、2 年生も力を伸ばしています。別立てでお知らせしておりますように、高橋は自分の競技とブロック長に集中で きているお陰もあり全中での決勝進出をはじめ、逞しくなっ て参りました。渡邊も 800m で都大会入賞を果たすなど、二人が牽引車となっ てこのあとの中野総 体男子の部の総合（初？）優勝そして中学駅伝での上位入賞が期待 されます。女子も中野総体では準優勝、優勝、準優勝ときておりますので、今年もなんとかそこに絡んでいきたいものです。少しでも多くの部員が「東大附属の陸上部で良かった」と巣立っ てくれるよう、また今シーズンを闘って参ります。

6. 中学関東大会・全国大会レースレポート （浅川先生より）

関東予選

道中 2 番手、絶好のポジションで周回を重ねる。鐘で 2 人に抜かれるが、後続とは離れており危なげなく組の 4 着で 2 年連続決勝進出！4 分 09 秒 49

関東決勝

全体にスローな出だし。永遠ははじめのコーナー 7 位で入り、

ホームストレートで 6 番 目、1 周すぎのバックストレートで 4 番 手、600m 通過で 3 番とこれまでにない良い位置どり積極的に上位を伺う。

400m : 63 秒

800m : 2 分 12 秒

こ の時点で昨日の予選より 2 秒遅い。このままラストの Sprint 競争かと思われたが、永遠より 8 秒速い 3 分台の記録を持つ選手がトップに立ち急激に ペースアップ。

1000m : 2 分 43 秒

これに食らいつきながら鐘で上位 7 人ぐらいの混戦となる。

1200m : 3 分 18 秒

バックストレートで 6 番争いに後退、いつもなら気持ちが切れてズルズル行くパターンだが、コーナーでも追いすがり最終出口も切り替えて一旦は 5 位に。再び抜き返されるも最後まで競り合い 6 位入賞！

優勝した長兄に順位では届かなかったが、記録は 1 秒上回り 4 分 05 秒 42。堂々胸をはれる。おめでとう。

全国予選

男子 1,500 メー トル予選 4 組

3 組までのレース、決勝進出できる 2 着は 4 分 3 秒台。プラスの 5 人で拾われるには 5~6 秒 がカットラインか？

同組には 3 分台の記録を持ち、関東の 1500m、昨日の 3000m と圧倒的な斬れ味のスパートで優勝した大谷くん。スタート直後ポジション取りに失敗し最後尾でコーナー侵入。ところが、入りの 200 メートルが他の組に比べ 2~3 秒も遅い超スローペースで置いて行かれずに済む。皆が大谷についてなだれ込もうという意図か。

1 周過ぎのバックストレートでようやく上がって 2~3 番手。600m 通過が 1 分 41 秒で、プラスで残る可能性消滅。確実に 2 着に入る必要があり「早めの仕掛け！」と叫ぶ。

800m が 2 分 16 秒。ここで一気に前にでて後続を 10m 引き離す。1000m は 2 分 48 秒。鐘から大谷君が飛び出しとわを追い、ぐんぐん縮まるものの 3 番手とは依然 10m 差。1200m 3 分 20 秒、コーナーの入りで大谷にかわされるも落 ち着いて追走。「オーロラビジョンで位置が見えたので…」後まで気を抜かずに走りきり 4'08"18 決勝 15 名中 15 番手のタイムながら、2 着で堂々の決勝進出です。

かつて無いリラックス&集中で「愉しんで来ます」と招集所へ向かった永遠。スタート前の選手紹介でも晴れやかな表情。

「立礼だけなら間違いなく日本一だなあ」と オーロラビジョンを眺める。1 レー ンはよほどダッシュをうまく決めないとポケットされやすいので苦手とするとわ、案の定コーナーの入りはブービー。200m が 31 秒。400m は 65 秒。

少 しペースを上げるも、そのまま後ろから 3~4 人目くらい

で周回。600m通過1' 37、800mを2' 11と力通りのタイム。先頭から5、6人が長い帯になりその後ろ団子にとわ、後方3人は離れはじめる。1000m2' 45「もう（前へ）行こう！」と声をかけるも、周りもペースアップしてなかなか上がれない。

鐘から1200m、一杯いっぱいになって時折目線が下がる。3' 19で1200mをこえる頃には上位が遠く、なんとかギリギリ8位入賞争いに加われるかという位置。

コーナーで10~12番手争いとなり必死にもがく。1400mで3' 53。ラスト直線、かわそうと出るも逆にジワリ離され、12位でフィニッシュ。4' 09"48。

お母さんによれば本人は「これが今の力だから」「ああ今日のレースは楽しかった」と笑顔で帰路についた様子。永遠、お疲れっ！

7. 高橋永遠くん中学全国大会出場の結果 (ホームページ掲示板より)

67回生の高橋永遠です。8月20日に香川県の丸亀競技場にて第41回全国中学校陸上競技選手権大会の男子1500mに出場してきました。結果を報告いたします。

●予選 4' 08"18 2 着 決勝進出 関東大会からレースを楽しむことができていたため、全国の舞台でのレースを楽しむこと、また悔いのないレースをしようと挑んだ。スタートに失敗し、集団最後尾に付けるが、スローペースでレースが進むため「ラスト勝負になる」と思い400すぎで3番手に位置をあげる。自分にはスピードがないためロングスパートをしようと決める。800を通過し仕掛ける。トップのまま残り1周をむかえる。残り200で1人に抜かれるが後ろとは差が開いており2着でフィニッシュした。悔いのないレースができ、今までのレースの中で一番良い内容だった。

●決勝 4' 09"48 12 着 決勝には東京の選手がもう1人、1年の時に東京にいて争った北海道の選手が1人進み、1年の時の都大会を思い出しく感じた。全国トップレベルの舞台で走ることを楽しもうと思い、レースに挑む。近年はスローペースの展開が多いがレースはスローペースにならなかった。スタートがうまく決まらず後ろに位置する。400を64"、800を2' 11"で通過し、入賞争いの位置にあげるが、1000を通過してもスピードがあがらない。そのまま集団においてかれて12着でフィニッシュした。1年、2年と挑み、ことごとく敗れた決勝への道でしたが、やっとたつことができました。決勝の走りは全力を出したし悔いもなく、楽しむこともできました。ただその分、全国トップレベルとの差

を知らされる悔しい結果となってしまいました。もう一度自分と向き合って上を目指して頑張ろうと決めました。

この先は3000mが主になりますが、個人としてはジュニアオリンピック、都道府県駅伝という全国の舞台にたつて勝負すること、チームとしては中学駅伝で3位以内に入ることを目指して頑張っていこうと思います。

この大会ではOB・OG会や親の会の皆様にご支援をいただきました。また、当日には山田さんご夫妻が応援に来てくださいました。皆様のおかげで全国という大舞台にたつことができています。ありがとうございます。今後も精進していきますので引き続き応援をよろしくお願い致します。長文となりましたが報告とさせていただきます。

☆ 寄付、お願い致します！

秋のシーズン、来シーズンも更に上位の大会を狙って頑張っています。
更なる応援、寄付、宜しくお願い致します。

皆さんの近況報告！（返信葉書・メールより）

(敬称略、名前末尾の数字は卒業回)

- 昨年10月の脳梗塞から6か月、リハビリ・ウォーキングに励んでいます。篠原正夫 (7)
- 60周年おめでとうございます、7年前から鹿児島在住になり出席できません。ますますのご発展をお祈りしています。竹内（藤田）安都子 (9)
- まだ料理教室の講師をしておりますので、残念ながら欠席させていただきます。長江（藤田）伊都子 (9)
- 週一回の非常勤の他は毎日が日曜日、庭仕事などほぼ悠々自適の生活を楽しんでいます。福山 力 (10)
- 久しぶりの出席です、皆様にお会い出来るのを楽しみにしています。竹澤俊行 (12)
- 出席して皆様に会えるのを楽しみにしています。藤島（中村）てる子 (13)
- いつもご連絡頂きましてありがとうございます、仕事の日程がくずせないので欠席させていただきます。中家（佐藤）千幸 (13)
- 祖父が夏目漱石の兄ということもあり、6年前から漱石役のVISAカードのCMに出演しております。東大附属のウィキペディアにも載っています。新田太郎 (19)
- 今年の箱根駅伝は東附陸上部出身の早稲田の高橋選手の力走が観れて夢のようでした。同期からも驚きのメールを頂きました。更なるご活躍をお祈り致しております。

小泉（三吉）友子（21）

- 現役の皆さん、いつも試合の様子をありがとう、皆さんの純粋な頑張りをしていると自分もあの頃を思い出し、仕事の励みにもなります。これからがんばって下さい、楽しみにしています。宮崎博之(26)
- いつもご連絡ありがとうございます、土曜日にも仕事がある為残念ながら出席できません。現役の皆さんの素晴らしい記録には驚くばかりです、いつも投稿レポート拝見しております。藤田知之（26）
- 本年も出席ができそうにありません、皆様方によろしくお伝え下さい。高橋暁(27)
- 現在、高校の女子サッカー部の顧問をしています。体力には自信がありましたが、最近は女生徒に走り負けることも多く、トレーニング不足を痛感しています。水野裕（30）
- なかなかOB会に出席できず残念です。
瀬川（吉澤）香（35）
- ご無沙汰しており申し訳ありません、現役及びOB・OGの皆様様の益々の活躍を祈っております。武野利彦（36）
- 諸事情により出席できず、大変申し訳ございません。現役の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。顧問であった先生方、OB・OGの皆様方に宜しくお伝え下さいませ。
岡香織（37）
- 現在、仕事で北海道におり、なかなかOB会に参加できず申し訳ありません、今回は出来る限り参加したいと思います。石川貴裕（56）
- 1月より愛知の岡崎に転勤となりました。川合大地（56）
- 4月にUTMFというトレランレース（169km）完走致しました、チームターザントレイルランニングの活動も引き続き継続していきます、今回もスケジュールの都合で顔を出せず残念です。加藤元毅（57）
- 現在勤務している中学校で陸上部の顧問をしています、大会では山田さんや浅川先生とお会いする機会があるので、とても嬉しいです！今年度から瑞雲中から新しい顧問の先生がいらっしゃってこちらも盛り上がっています。
加藤尋子(57)
- 3月に学部を卒業し、4月から社会人となりました。
石阪奈未（59）
- 理学療法士として千葉の病院に就職しました。
加藤安希子（59）
- 今回は卒業研究のための出張で東京にいないので、欠席させていただきます。三谷美賀（59）
- 大学院にておもに障害時教育について学んでいます。
石阪茉未（59）
- 今回は3日後から遠征が入ってしまった為、欠席致し

ます。高橋広夢（60）

- 現役時代は800mを専門にやっておりました、現在は大学の女子サッカー部でリーグの昇格に向けて、日々練習に励んでおります。皆様様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。
狩野優理（60）
- 今回は非常に残念ではありますが、次回は参加したいと思っております。妻島浩賢（60）
- 長年住み慣れた東京を離れ、高知で大学生活を過ごしています、現役時代は短距離(100m)、幅跳びをしていました。高校生は部活を存分に楽しんでほしいと思います。
中村勝之介（62）
- 現役時代の種目は走り幅跳び、大学ではアルティメットというスポーツの部活とフットサルサークルに入っています。
田村萌（62）
- 現役時代は800mや槍投げをやっていました、大学生活とても楽しいです。田村梢（62）
- 慶応義塾大学総合政策学部2年です、スポーツビジネスの研究会に入って勉強をしています。矢野沙織（62）
- 大学生になりました、将来の夢に向けて勉強や様々な活動にこれから励みたいと思っております、現役時代は800mをメインに走っていました。現役生へ！仲間を尊重し合いながら活気ある部活を皆で作って行って下さい。
平澤日和（63）
- 一人暮らし中です、現役時代は長距離をメインにやっていました、大学ではハンドボール部に所属しています。
深谷健（63）
- 現在は、帝京短期大学柔道整復コースにて学んでおります。
鈴木康太（63）
- 慶応義塾大学競走部で陸上を続けていくことにしました。引退から1年ほど経ったこともあり、今のところ自分の納得のいくような走りにはできていません。しかし、慶応の競走部は自主性を尊重しながらもかなり強い選手が多く、かなり質の高い練習ができると思います。また、雰囲気が東大附属と通じるところがあり、とても恵まれた練習環境です。このような素晴らしい環境を最大限に生かし、今度こそ結果を求めていきます。競技は高校の頃の400mに加え、800mでもっとタイムを狙っていききたいと思います。まだまだ未熟な自分なので、OB・OGの皆様、先生、現役部員の皆さんアドバイス等宜しくお願い致します。
松永将吾（63）
- 現役時代は中距離を専門に走っており、現在は陸上競技ではないものの、フットサル、ハイキング等の運動を続けております。堀田さとり（63）

* **OB 会会費、未だの方、ぜひぜひ、お願い致します。**

振込先

みずほ銀行新浦安支店

口座番号 1805224

口座名義 東大附属陸上部 OB 会 山田美恵子

トウダイフゾクリクジョウブOBカイ ヤマダ ミエコ)

郵便振替口座 00150 0 362260

名義 東京大学附属高等学校陸上部 OB 会

学生 ￥1,000.-

一般 ￥2,000.-

終身会費 ￥50,000.-

* お知らせ

過去3年間返信のない方、又、会費未払の方は、名簿の登録はそのまま残しますが、総会報告書等は来年度より発送しないものと致します。ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

* 編集後記

80 人もの会の幹事は初めてで、お店を予約した後も、こんなにたくさん来てくれるかなという不安、逆に多すぎて狭すぎたらどうしようという不安にかられながら、皆さんの協力で無事記念式典を開催し、盛会に終わることができました。

幟も大会で活躍しているようで、嬉しい限りです。

今、通っているジムで筋トレ川柳コンテストをやっているのですが、その中で個人の筋力アップだけでなく、友人も増えた、仲間と励まし合って目標に向かおう、という句が多いです。同じ目的に向かって進む中で、絆が深まってゆく、そういう雰囲気は附属陸上部では自然と身についていく、と感じております。私の駄作は

『筋トレで 輝く人生 金を取れ 』

来年も皆様に笑顔でお会いできることを楽しみにしております。